



今回は、「地球温暖化と雨」をテーマとして、地球温暖化による影響の中でも「雨」に焦点をあて、気候変動予測技術や将来の降水の変化に伴う水害の予測技術、地球温暖化に伴うリスクについての最新の知見をお伝えします。

1. 期日 : 平成 27 年 1 月 16 日 (金) 15 時 00 分～17 時 30 分 (開場 : 14 時 30 分)
2. 場所 : 気象庁 2 階 講堂 (東京都千代田区大手町 1-3-4)
3. 主催 : 気象庁、(一財) 日本気象協会、(一財) 気象業務支援センター
4. 内容 : 「地球温暖化と雨」
- ・『将来の雨の予測ーより精度の高い予測への取り組みー』
気象研究所 環境・応用気象研究部 第二研究室室長 高薮 出
 - ・『地球温暖化による降水の変化に伴う洪水・浸水・氾濫の予測技術』
京都大学大学院 工学研究科 教授 立川 康人
 - ・『地球温暖化リスクに関する最新の科学的知見ーIPCC 第 5 次評価報告書をふまえてー』
国立環境研究所 社会環境システム研究センター
総合評価モデリング研究室 主任研究員 高橋 潔
5. その他 : 定員 : 200 名 (事前申し込み制・先着順) 入場料 : 無料

申込み方法等詳細は、次のアドレスをご覧ください。

http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/climate_lecture/index.html